

掲載号：V o l . 1 6 N o : 2 (4 2)

発行月：平成23年12月



平成22年5月、かつの厚生病院（旧鹿角組合総合病院）開院に合わせ、新規開局しました。ファーマックスとしては県北に3店舗目となります。外観はレンガ造り風で、駐車場（約50台）は薬局の裏手にあり駐車場側からも入れる構造になっています。現在、薬剤師3名、事務4名体制となっています。



それでは薬局内を紹介します。

○待合室

ゆっくりとしたスペースのバリアフリーで、木のぬくもりを感じる開放的な空間になっています。椅子席のほかにテーブル席もあり、子供たちがぬり絵や絵本を読んだりして過ごしています。トイレは車いすでの利用も可能で、また足腰の不自由な方も安心して利用できるように手すりを設置し、オムツ交換台、子供用イスもあります。



○投薬カウンター

患者さんが安心して話せるように、プライバシーに配慮した造りになっています。相談コーナーでは椅子を設置し、座ってゆっくり話せるようになっています。



○調剤室

白を基調とした清潔感のある造りになっていて、調剤に対し安心感を与えられるように、患者さんから見えるような配置にしています。



○過誤防止システム

以前からの散薬監査システムに加え、開局に合わせ、他店舗でも使用していた処方せん入力システム「フェイス」と、社内で初めてピッキング時の調剤過誤防止システムを導入しました。



○無菌室

無菌室のスペースも確保しており、在宅による高カロリー輸液の調整も可能です（未実施）。

開局後 1 年半が過ぎましたが、今後も地域の皆様の健康の手助けが出来るよう今以上に頑張っていきたいと思えます。